

お元気ですか

南 恵子

です

ニュースを読んでご
意見をお寄せ下さい。

区議会議員

南 恵子

TEL 3790-1523



発行責任者 **日本共産党品川区議会議員 南 恵子** 八潮5-12-65-503

メールアドレス minami@jcp-shinagawa.com

地球温暖化対策に取り組む町

北緯40度にある葛巻町(岩手県)に行ってきました

人口8000人、酪農と林業が主な産業という葛巻町。町の年間予算は50億円弱という小さな田舎の町ですが、地球環境保全の取り組みは先進自治体です。8月18～19日で視察に行ってきました。



民間の風力発電

風力 バイオガス 太陽光などクリーンエネルギー

今、地球温暖化を食い止めるための対策が急がれます。南は、品川区が率先してCO2排出を抑制する取り組みをするべきだと思います。

そこで、『風の町』としてクリーンエネルギーに取り組んでいる岩手県葛巻町に行ってきました。

15基もの風力発電設備を備える

町の中心から1時間車で走り、周囲を見渡せる山の上に着くと、35mの高い塔に15・5mの羽がついた風車が3基ありました。1基当たりの発電量は400kwです。また、別の場所には更に大きな風車12基が山の稜線に沿って並んでいました。ここの発電は民間が行っており、発電量は1基当たり1750kwです。日本海側から奥羽山脈を越えて吹く風が一年中あることが風力発電の基盤だと言えます。

中学校に太陽光発電

50kWの太陽光発電を中学校の校庭に設備し環境教育も同時に行っています。校庭の広さは品川とは違いますが、

縦1mほどの太陽光パネルがブレードと3列も並んでいました。学校が1日に使用する電力の25%を発電しているといえます。



畜糞や木質によるバイオマス発電

1万3000頭の乳牛がいますが、この地方で最も酪農に力を入れているそうです。ここから出る一日6

50tの畜糞を「資源として有効活用」するためメタンガスによる発電を実験的にプラント設備。発電された電気は、この施設の操業に使って循環できているといえます。

木質バイオマスもこの地域の特性を背景にしています。林業も昔からの産業としてあり、森林整備することで地球環境に貢献できます。また、間伐材など破材の有効利用として木材バイオマス発電を行っています。発電された電気



上は木質バイオマス、
右は畜糞バイオマス



は、チーズやバターなどを生産する施設の電源や町民などの宿泊施設に活用されています。

さらに、木材ペレットとして町民の暖房に生かされています。

小さな町でもその気になれば地球温暖化防止対策はいくらでも出来る

財政力は、比較にならないほど小さい自治体ですが、地球環境保全のために出来ることは実践しようという意気込みに感動します。

世界的に地球環境をこれ以上悪くしないよう各国で取り組もうといわれている時、国はもちろん自治体が率先して取り組まなくてはなりません。取り組む姿勢に財政力の多寡は関係ありません。意識です。

日本共産党は温暖化防止対策を発表しました

日本共産党は6月に、地球温暖化の抑止に、日本はどのようにして国際的責任を果たすべきかの視点で政策を明らかにしました。

まず、排出権取引。環境税導入。化石燃料使用の規制。

さらに、自然エネルギーによる電力を固定価格で買上げる制度創設、原発推進ではなく転換を。

大量生産、大量消費、大量廃棄をおもとからただす、人に優しく環境を大事にする社会をつくる視点で経済と社会を見直すなどです。

葛巻町の視察と日本共産党の政策を今後の議会活動に生かします。

このニュースをお読みになつて、ご意見やご要望などありましたら、お気軽にお寄せください。電話(3790)1523